

多職種連携と保健所の役割

— 中南海域県民局地域健康福祉部保健給室（弘前保健所） —

＜保健所の機能＞：地域保健の広域的、専門的かつ技術的拠点としての機能
 ＜保健所の役割＞：プレーヤーとコーディネーター

包括ケア	健康危機管理
☆予防 健康津軽21（第2次）、生活習慣病対策	☆結核・感染症、食中毒
☆医療 医療計画の推進	☆災害、原子力災害
☆福祉・介護 障害者（精神・難病等）へのサービス提供	☆医療安全等
☆保健・医療・介護連携（包括ケア）の 企画・調整	

精神保健福祉対策

- 1 精神保健福祉相談（定期：41件、随時：65件、電話：495件）
- 2 家庭訪問（112件）
- 3 通報等緊急時対応（24件）
- 4 自殺未遂者支援モデル事業（H27年度～）
関係者（医師、看護師、家族、市町村、サービス提供者等）による検討等
- 5 地域生活支援広域調整会議（H27年度～）
関係者（家族、医療関係者、市町村、サービス提供者等）による検討等
- 6 精神科救急医療システム
- 7 自立支援医療に係る事務（4,004件）
- 8 精神保健福祉手帳に係る事務（所持者数2551人）

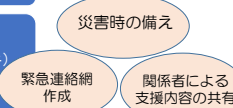


※件数は
H26年度実績

難病対策

- 1 指定難病公費助成（2,232件）
- 2 医療相談（個別2件、集団3回271件）
- 3 訪問指導
（保健所保健師72件、難病訪問相談員131件）
- 4 難病在宅ケアネットワーク会議
（年1回）
- 5 患者会支援（随時）

事例：
在宅ALS患者・家族への
支援



多職種連携

※件数はH26年度実績

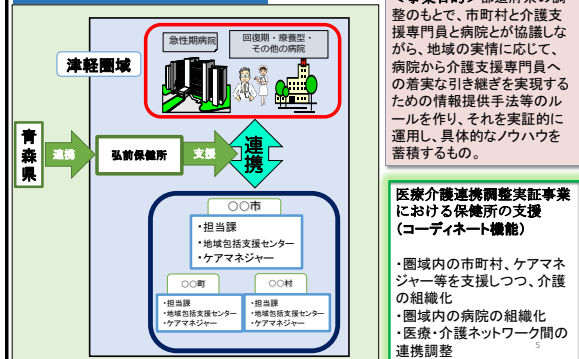
＜在宅医療介護連携＞

津軽圏域の特徴

管内の概要		津軽圏域の高齢化予測	
総人口（H27.8.1推計人口）	291,275人		
面積（H22.10.1現在）	1,597.73km ²	総人口	39.8%
市町村数	8か所	高齢者人口	1.6倍
地域包括支援センター	14か所	10年後には、3人に1人は高齢者、5人に1人は後期高齢者	
高齢化率（H27.2.1現在）	29.4%		
高齢者施設等		医療施設等	
特別養護老人ホーム	24か所	病院数	22か所
介護老人保健施設	16か所	病床数	4,368床
養護老人ホーム	3か所	急性期病床を持つ病院数 （病床数）	17か所
有料老人ホーム	81か所	入院完結率	93.3%
サービス付き高齢者住宅	33か所	入院患者流出率	6.2%
グループホーム	79か所		
居宅介護支援事業所	132か所		

＜在宅医療介護連携＞退院支援ルールづくり

医療介護連携調整実証事業



＜事業目的＞都道府県の調整のもとで、市町村と介護支援専門員と病院とが協議しながら、地域の実情に応じて、病院から介護支援専門員への着実な引き継ぎを実現するための情報提供手法等のルールを作り、それを実証的に運用し、具体的なノウハウを蓄積するもの。

医療介護連携調整実証事業における保健所の支援（コーディネート機能）

- ・圏域内の市町村、ケアマネジャー等を支援しつつ、介護の組織化
- ・圏域内の病院の組織化
- ・医療・介護ネットワーク間の連携調整

地域包括ケアシステムが構築された住みやすい地域づくり

